

今回のミーティングでは直近起きた出来事についてそれぞれの感じたことをシェアすることができました。

特に陽子さんが見せてくださった押し付けの事例について、「自分だったらできる?」「やりたいと思っている?」と問いかけていただいたことが大事な観点だと思います。

一方で「(自分にはできないけど)陽子さんすごい」で終わらせていることがこれまでは多かった気がします。10年プロジェクトでの陽子さんの行動を見て「自分だったら同じことができるか」という視点で見て、自分でやってみることがなりたい姿に近づく方法なんだとわかりました。

またえみさんからフィードバックコーナーで指摘してもらった点については自分の根強い価値観が自覚できました。野生ポストにも書きましたが、仕事での経験からまず自分に落ち度があった点を謝罪するを最優先してしまっていますが、このコミュニティでそれをする必要があるのか本当に考えた上でうまく自分の考えを伝えられるようになりたいと思いました。

最後にシェアしていただいた陽子さんの投稿をやめた理由について、その後も自分なりに思うところがありました。

自己研鑽アウトプットで発達障害のパートナーと生活する本を読んだのですが特性として苦手なことに対して努力不足、やる気がないと判断して追い詰めるのは相手を深く傷つけてしまうことになると知りました。

強者の発言が人を傷つけるというのはたしかに自分でも覚えがあります。例えば全員が受ける資格試験について、自分なりに努力して合格したのに「河本さんは頭が良いから」

と言われると自分が努力していないと思われていると感じて嫌な気持ちになったことがありました。でも一方で同じ勉強時間で得ている知識量が人によって違う可能性は十分あるわけで、そう言われればたしかに合格レベルまでたどり着くための勉強時間が他の人より少ないのかもしれませんが。

また、夫に子供の迎えを頼んだ時に、仕事が忙しくて忘れていたり時間を勘違いしていたことがあり、それに対してすごく腹を立てたことがありました。もちろん悪意があってやったことではないのですがどうして複数のタスクをこなせないのだろうかと思うし、経営者だから残業時間の上限がないのはわかるものの要領が悪すぎると思います。

でもそれに対して腹を立てたり相手を責めるのは違うんだなと気が付きました。自分の素質とこれまで育児をしながら仕事をしてきた経験でマルチタスクをこなす能力だったり、限られた時間内で終わらせる方法が身についてきたけれどそれと同じレベルを夫に求めるのは酷なのだと思います。

自分の努力を認めてもらいたいという気持ちはたしかにあるけれど、それを相手に求めるのは違うのかもしれない。自分の強さを自覚すると周りの人にやさしくなれると以前陽子さんから聞きましたが、まさにそれを実感させてもらった話でした。

旅行先にもかかわらず遅くまで話をしてくださった陽子さん、ファシリテーターのあさみさん、大事なフィードバックをしてくださったえみさん、ありがとうございました。

(A.K 30代女性 富山県)